



英国政府 レベリングアップ・住宅・コミュニティ省



イズリントン区



英国多文化 政策交流プログラム コミュニティ タイム

英国で多文化共生施策を学びませんか？

英国の多文化共生政策に基づく地方行政・地域づくりを学ぶ「英国多文化コミュニティ政策交流プログラム」を開催します。歴史的に数多くの移民を受け入れてきた英国の行政やNPO等の関連する施策を学び、在留外国人が急増する日本の取り組みに活かすことを目的としたプログラムです。ぜひ、ご参加ください！

日程：2024年7月1日(月)～6日(土) 計6日間

視察：イギリス (ロンドン 他)



NGO「The Faith & Belief Forum」



移民博物館



グレーターマンチェスター
合同行政機構



問い合わせ先

(一財)自治体国際化協会 多文化共生部多文化共生課

TEL : 03-5213-1725

E-mail : tabunka@clair.or.jp



🔍 クレア 英国 🔍 で検索！

自治体国際化協会

プログラム概要

◆内容◆

- ・先進的な施策を実施する英国の現地機関や団体等を訪問し、英国における多文化共生の取り組みに関する知識を深める。
- ・現地訪問で得た知見を基に、参加者の所属する団体における多文化共生政策等について、参加者で意見交換を行う。

◆視察先／視察内容(例)◆ ※視察先の都合等により、変更になる場合があります。

- ・移民集住自治体等の行政機関
 - －移民・難民の多様性に配慮した共生戦略の展開例
- ・NGO等の支援団体
 - －異なる文化・宗教を持つ子どもの学校間交流の取り組み
- ・大学・移民関連研究機関、博物館
 - －多文化共生に向けた都市間ネットワークの形成・取り組み
 - －地域コミュニティに対する移民への理解促進の取り組み



ウォルサム・フォレスト区長との対談

◆対象者◆ ※通訳が同行するため、英語の能力は不問。

- ・地方公共団体の職員(都道府県・市区町村)
- ・地域国際化協会の職員
- ・地方公共団体や地域国際化協会の推薦を受けたNPO等民間団体・国際機関の職員等、又は市区町村国際交流協会の職員



マンチェスター市

◆参加費用◆

- ・研修参加費は無料ですが、旅費（航空賃・交通費等）、宿泊費、食費等をご負担ください。
- ※地域国際化協会からの参加者（個人参加を除く）については、地域国際化協会連絡協議会から一部の費用について助成あり。



ウォルサム・フォレスト区
「コミュニティ・リビングルーム事業」



Our Lady and St George's Catholic
Primary and Nursery School

R5プログラムについて

～主な視察先～

- ・英国政府(レベリングアップ・住宅・コミュニティ省)
- ・グレーターマンチェスター合同行政機構
- ・ウォルサム・フォレスト区 ・イズリントン区
- ・The Faith and Belief Forum
- ・Migration Work CIC

ロンドンを中心に、
マンチェスターも視察



～参加者の声～

- ◆英国における多文化共生の取り組みは大変積極的で、「統合・公平性・平等」といったキーワードをどこの訪問先でも聞き、移民を社会全体で受け入れ、共に生きていこうという前向きな姿勢・パワーに感銘を受けました。
- ◆直近、ウクライナ避難民やアフガニスタン難民、香港市民が英国に受け入れられたが、それぞれに受け入れスキームがカスタマイズされていたことが非常に驚きだった。また、難民・避難民への支援に対して市民レベルでの理解や取り組みが日本と比較して先進的であり、移民を含めた外国人との共生への理解の深まりを感じた。



CLAIR
一般財団法人
自治体国際化協会



詳細は
HPにて!